

クロージングセッション

「研究は最初から国際舞台で：男性も女性も輝くために」

オーガナイザー：柳澤実穂（お茶の水女子大学・理学専攻）

講演者：郷通子（お茶の水女子大学学長）

郷学長は、日本に女性研究者が殆どいなかった時代にアメリカに留学され、成功を持って帰国されてから学長を務める現在まで、常に第一線で活躍されています。その領域は、生物物理学に始まり分子進化学、生命情報学など多岐に渡り、特に生命情報学においては日本を先駆けてその創成に努力されています。研究はもちろんのこと、女性である郷学長が歩んできた歴史から、我々が先輩方からどのような恩恵を受け、そして今何が求められているか、と言ったアドバイスを得る事が出来ると期待しております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【郷通子先生の略歴】

1967年 理学博士

1973年 九州大学理学部（生物学教室）助手

1989年 名古屋大学理学部教授（生物学科）

1996年 名古屋大学大学院理学研究科教授（生命理学専攻）

東京大学分子細胞生物学研究所併任（客員教授）

2001年 名古屋大学評議員

2003年 名古屋大学名誉教授

長浜バイオ大学バイオサイエンス学部教授（学部長）

2004年 長浜バイオ大学理事

2005年 お茶の水女子大学学長

長浜バイオ大学特別客員教授

第20期日本学術会議会員（第2部）

中央教育審議会委員

2007年 総合科学技術会議議員